

NEWS

2018 年 1 月 3 日(水)

Page: 3



【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

TEL: 03-3450-9360 FAX: 03-3450-9361

広報担当: 清水 TEL: 090-7241-7556

E-mail: jafahq@americanfootball.jp

Web: www.americanfootball.jp

FOR USE AS DESIRED

報道関係各位

ー富士通が連覇 3 度目のライスボウル制覇ー

アメリカンフットボール日本選手権『プルデンシャル生命杯 第 71 回ライスボウル』
2018 年 1 月 3 日(水)、東京ドームにおいて開催

1 月 3 日(水)、アメリカンフットボール日本選手権『プルデンシャル生命杯 第 71 回ライスボウル』が東京ドームで行われ、富士通フロンティアーズが 37 対 9 で日本大学フェニックスに勝利。富士通は、昨年に続く優勝で 3 度目のライスボウル制覇となった。

この日の試合は、日大がレシーブ、富士通がキックでスタートした。第 1Q 開始から両チームのディフェンスが奮闘し無得点が続いていたが、富士通は同 Q 終了間際に自陣から QB コービー・キャメロンが WR 中村輝晃クラークへのロングパスがヒット。日大陣 49 ヤードへ攻め入ると、さらに QB コービーから WR 中村のホットラインが開通しゴール前 4 ヤードへ。最後は、QB コービーが RB ジーノ・ゴードンへパスを通し、先制のタッチダウンを奪った。

なおも富士通は、日大の攻撃をスリーアンドアウトで止めて敵陣で攻撃権を得ると、QB コービーが右サイドを縦に走る中村へ 49 ヤードのタッチダウンパス。14 対 0 とリードを広げた。さらに富士通は、第 2Q 残り 10 分くらいのところで QB コービーからエンドゾーン内の WR 中村へ 24 ヤードパスがヒット。タッチダウンのように見えたが、ビデオ判定の結果、パス失敗に変更となり、富士通は K 西村豪哲の 41 ヤード FG で加点した。

これ以上離されたくない日大は、富士通のフォースダウンギャンプルを止めて自陣 39 ヤード付近から攻撃権奪取。すると、ラン攻撃を軸に富士通陣内へ侵入。タッチダウンへはつなげられなかったが、K 篠原歩夢が 35 ヤード FG を決めて 3 点を返した。試合は、富士通が 17 対 3 とリードして、前半を折り返した。

後半も富士通の勢いは止まらず、富士通は後半最初のドライブで QB コービーが WR 強盛へ 37 ヤードのタッチダウンパスをヒット。続く日大の攻撃は自陣まで攻められるも DB アルリワン・アディヤミが QB 林大希のパスをインターセプトした。富士通はこの好機を K 西村の 31 ヤード FG につなげ、27 対 3 とした。

追いつきたい日大は、DB 柴田和樹が QB コービーのタッチダウンを狙ったパスをインターセプトして攻撃権を奪った。敵陣 42 ヤードからの攻撃は、ゴール前 7 ヤードまで侵入した日大だったが、フォースダウンギャンプルが失敗して得点をあげることができなかった。攻撃権を奪取した富士通は、自陣 7 ヤードからの攻撃で RB ゴードンのランで着実に前進すると、最後は RB ゴードンの 13 ヤードタッチダウンランでドライブを締めくくりダメを押した。その後は、日大の攻撃を 1 タッチダウンに抑え、そのまま逃げ切った。

なお、最優秀選手賞にはパス 29 回 17 回成功、275 ヤード、3TD、1INT を記録した QB コービーが選ばれた。

富士通 HC 藤田 智

（今日の試合について）もう少し最初からできたら良かったと思いました。でも、選手が最後まで切れずに頑張ってくれました。一つ一つのプレーをやりきることができたと思います。

（ファンに向けて）いつもご声援ありがとうございます。これからもまだ進化していけるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

富士通 QB コービー・キャメロン

日大はとても強かったですし、良いプレーもしました。来年も勝ち続けていくと思います。（自分に関しては）パーフェクトでいたいです。常に成長していきたいです。

富士通 WR 中村輝晃クラーク

（母校の）日大と対戦できて最高でした。監督の顔を見て懐かしさを感じ、緊張感も湧きました。学生時代に教わったことをベースに今でもやっています。とにかく日大のレシーバーが活躍できることを見ている人に分かってもらえたと思います。